

■ 農作物の生育状況と今後の対策等（９月）

令和 7 年 9 月 12 日
青森県三八農林水産事務所
農業普及振興室

I 水稻

（１）成熟期における稈長、穂長、穂数

「まっしぐら」の生育は、稈長、穂長は平年より長く、 m^2 当たり穂数は平年より多かった。

「はれわたり」の生育は、稈長、穂長は前年より短く、 m^2 当たり穂数は前年より少なかった。

表 1 水稻生育観測ほ生育状況（９月 10 日現在）

○まっしぐら

市町村 地点	年次	出穂期 (月日)	成熟期の生育状況				成熟期 (月日)
			稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本)	m^2 穂数 (本)	
八戸市 市川	本年	7月25日	79.3	20.0	18.0	402	
	前年	7月30日	89.7	18.6	25.6	380	9月12日
	平年	8月6日	77.2	17.5	20.6	408	9月23日
五戸町 根前	本年	7月23日	76.5	20.0	17.4	405	
	前年	7月27日	76.0	19.8	13.6	291	9月8日
	平年	8月3日	77.1	17.9	17.2	390	9月20日
南部町 苦米地	本年	7月27日	88.4	20.6	18.6	387	
	前年	8月1日	90.6	19.0	19.2	382	9月12日
	平年	8月3日	81.6	18.5	19.3	368	9月17日
三八管内 ※8地点平均	本年	7月26日	81.9	20.1	17.7	406	
	前年	7月28日	82.8	19.2	18.1	357	9月10日
	平年	8月3日	77.7	17.7	18.4	387	9月19日

※三八管内8地点：八戸市(市川、櫛引、島守)、五戸町(根前、中市)、階上町赤保内、南部町苦米地、新郷村長峰

〇はれわたり

市町村 地点	年次	出穂期 (月日)	成熟期の生育状況				成熟期 (月日)
			稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本)	m ² 穂数 (本)	
八戸市 島守	本年	7月24日	86.9	17.6	16.1	333	
	前年	7月30日	88.0	17.6	19.3	372	9月10日
三戸町 斗内	本年	7月27日	88.6	19.5	19.8	387	
	前年	7月26日	86.4	19.5	20.7	435	9月12日
南部町 苫米地	本年	7月25日	88.5	17.4	18.8	331	
	前年	7月29日	96.0	19.7	22.0	405	9月10日
田子町 向山	本年	7月24日	72.4	15.9	13.3	387	
	前年	—	—	—	—	—	—
三八管内 ※5地点平均	本年	7月24日	82.4	17.8	16.3	360	
	前年	7月27日	87.3	18.4	21.8	412	9月8日

※三八管内5地点：八戸市島守、三戸町貝守、南部町苫米地、田子町向山、三戸町斗内

(2) 刈取適期

刈取始めの目安である出穂後の積算気温 960℃に達する時期は、管内の出穂最盛期（7月27日）に出穂したほ場で、9月3日頃となっている。管内の刈取作業は9月5日頃から開始している。

表2 出穂日別積算気温到達日（八戸アメダスデータを使用）

積算気温	出穂期						
	7/21	7/23	7/25	7/27	7/29	7/31	8/2
960℃到達日 (まっしぐら刈取始期)	8/27	8/30	9/1	9/3	9/5	9/8	9/10
970℃到達日 (はれわたり刈取始期)	8/27	8/31	9/1	9/3	9/6	9/8	9/11
1,200℃到達日	9/6	9/9	9/12	9/14	9/17	9/20	9/23

※9月4日までは本年値、9月5日以降は平年値を使用

(3) 今後の対策等

刈り遅れにより、白未熟粒や胴割粒等の発生による品質低下が懸念されるため、粃の黄化程度等を見極めて、適期に刈り終えるようにする。

Ⅱ 野菜

(1) ながいも

ア 生育の状況

生育観測ほのいも長は 92.3cm (平年比 111%)、いも重は 1,321g (平年比 128%) と平年を上回り、いも径は 60.0mm (平年比 104%) と平年をやや上回っており、生育の遅れは回復している。病虫害は特にみられない。

一般ほ場では、全般に茎葉の生育は確保されている。病害は葉渋病が発生している。虫害はナガイモコガやハダニ類の食害がみられる。

表 3 ながいも生育観測ほ生育状況 (9 月 10 日現在)

年 度	植付期 (月日)	つるの ネット頂 到達日	7 月 10 日現在 (本年調査日:7月 10日)			8 月 10 日現在 (本年調査日:8月8日)			9 月 10 日現在 (本年調査日:9月 10日)		
			いも長	いも重	いも径	いも長	いも重	いも径	いも長	いも重	いも径
			(cm)	(g)	(mm)	(cm)	(g)	(mm)	(cm)	(g)	(mm)
本 年 (平年比)	5/14 遅8日	7/10 遅3日	14.3 84%	6.6 84%	9.1 112%	43.3 86%	218.3 95%	39.0 103%	92.3 111%	1,321 128%	60.0 104%
平 年	5/6	7/7	17.0	7.9	8.1	50.1	230.1	37.7	83.2	1,032	57.8
前 年	5/20	7/12	11.2	3.0	6.9	45.0	171.3	35.2	86.7	1,040	55.1

※庄司系 2 年子・120～150 g ガンク切除

※平年は平成 27 年～令和 6 年の平均値

イ 今後の対策等

- (ア) 葉渋病、炭疽病が見られるほ場では、まん延防止のため防除を徹底する。
- (イ) 種子ほ場では、アブラムシ類の防除を徹底する。
- (ウ) 台風等で支柱が倒れたり、ネットごと茎葉がずり落ちたりした場合は可能な限り修復する。穴落ちが見られる場合も速やかに埋め戻す。

(2) にんにく

ア 植付け準備等

- (ア) 10 月 10 日頃までに植付けできるよう、ほ場準備等は天候を考慮しながら、計画的に進める。
- (イ) 使用する種子は、イモグサレセンチュウやチューリップサビダニ等の害虫が寄生していないものとする。
- (ウ) 種こぼしは、チューリップサビダニ等の寄生を防ぐため、可能な限り植付けの直前に行い、種子消毒を実施する。
- (エ) イモグサレセンチュウの発生を確認したほ場では、土壌消毒等の体系的な防除対策を実施する。
- (オ) 種子増殖「専用ほ場」を設置し、優良種子を購入して、計画的に増殖する。

(カ) 種子増殖ほ場では、アブラムシ類によるウイルス感染を防ぐため、萌芽揃いから降雪前に、アブラムシ類に登録のある薬剤で防除する。

(3) トマト

ア 生育の状況

生育観測ほでは、11 段目の開花日が8月 20 日で、平年より 13 日早かった。現在8～9 段目を収穫中である。

裂果の発生はやや落ち着いてきているものの、8月まで高温傾向で経過してきたことから、11 段目までの各段で落花がみられている。

病害は、灰色かび病、葉かび病及びすすかび病の発生がみられる。虫害は、タバコガ類による果実及び茎葉被害のほか、トマトキバガ、コナジラミの発生がみられる。

一般ほ場でも裂果の発生は落ち着いてきており、生育も回復してきている。

病害は、灰色かび病のほか、一部で青枯病やうどんこ病の発生がみられる。

虫害は、タバコガ類、アザミウマ類、トマトキバガの発生がみられる。

表4 トマト生育観測ほ生育状況（9月10日現在）

年 度	定 植 時				着 果 状 況												収穫期	
	品種名		定植期 (月日)	育苗・活 着状況	1 段 花 房		3 段 花 房		5 段 花 房		7 段 花 房		9 段 花 房		11 段 花 房		始め (月日)	終わり (月日)
	徳木	台木			開花期 (月日)	着果数 (個)	開花期 (月日)	着果数 (個)	開花期 (月日)	着果数 (個)	開花期 (月日)	着果数 (個)	開花期 (月日)	着果数 (個)	開花期 (月日)	着果数 (個)		
本 年 (平年比)	りんか409	自根	5/12 (1日遅)	良好	5/29 (3日遅)	3.8 93%	6/15 (1日早)	3.2 94%	6/27 (6日早)	2.6 104%	7/15 (6日早)	2.4 92%	7/30 (11日早)	1.9 95%	8/20 (13日早)	2.1 140%	7/7 (3日早)	
平 年	りんか409	自根	5/11		5/26	4.1	6/16	3.4	7/3	2.5	7/21	2.6	8/10	2.0	9/2	1.5	7/10	10/29
前 年	りんか409	自根	5/5	良好	5/21	4.6	6/12	3.1	6/27	3.5	7/11	2.8	7/27	2.4	8/20	1.2	7/2	10/19
備 考	※栽植様式：畦幅 210cm、株間 40cm、条間 70cm、2条千鳥、黒マルチ栽培 ※栽植株数：1,960株/10a（80坪ハウスに516株） ※平年（H27～R 6の10か年の平均値）																	

イ 今後の対策等

(ア) 裂果の発生を防ぐため、天候に合わせたかん水管理を行うほか、最低気温の低下に合わせ、夜間はハウスを閉めるようにする。

(イ) 収穫終了予定日に合わせ、9月中旬頃までに摘芯を行う。

(ウ) 病害虫の発生に留意し、適期防除に努める。